

無名會の一夕

石川啄木

青空文庫

この頃の短い小説には、よく、若い人達の自由な集會あつまり——文學者とか、新聞雜誌の記者とか、會社員とか、畫家とか、乃至は貧乏華族の息子とか、芝居好の金持の若旦那とか——各自めいごとく新しい時代の空氣を人先に吸つてゐると思ふ種々いろくの人が、時々日を期して寄つて、勝手な話をする會の事を書いたのがある。さういふのを讀む毎に、私は「ああ、此處にも我々のやうな情ない仲間がある。」と思はずにはゐられない。さうして、其作者の筆が少しでもさうした集會あつまりの有様を、興味か同情かで誇張して書いてあれば、私は又、自分を慙むと同じ慙みを以て其人を見るか、でなければあの魚の目よりも冷たい目を持つた、諷刺家の一人では

あるまいかと疑はずにはゐられない。

〔以下斷絶〕

青空文庫情報

底本：「啄木全集 第十卷」岩波書店

1961（昭和36）年8月10日新装第1刷発行

入力：蔣龍

校正：阿部哲也

2012年4月15日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.waozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

無名會の一夕

石川啄木

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>